学校番号	205

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「情報の表現と管理」　（実況出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報産業や社会における情報の表現や管理にはコンピュータの活用が不可欠です。コンピュータを活用した情報の表現や管理にかかわる実習を通して、情報手段や法規、コンピュータの特性などについて体験的に学習し、情報化社会において主体的に参画できる力を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

・情報を収集、整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を習得させ、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用する能力を育てる
・コンピュータやアプリケーションソフトウェアなどを目的に応じて活用する方法を身に付け、情報の表現や管理に情報手段を積極的に活用することができる主体的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・問題を多面的に吟味し、解決方法を模索する態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報の表現と管理にコンピュータを積極的に活用し、主体的に情報活用をする態度	・問題の発見、解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・情報の管理に関する法規の目的について考え、情報技術者として情報を適正に判断する力	・目的に応じた情報の整理、抽出、管理に必要な情報技術を適切に扱っている ・プレゼンテーション資料の作成技法、情報機器を利用した発表技法、口頭や態度で情報を伝えるための技法を身に付ける	・業務でよく利用される文書の構成、定型化、作成目的などの構成の理解 ・情報を扱う上での個人の責任について理解
評価方法	学習状況の観察 筆記プリントの記述 実習作品 レポート、発表 積極的発言・発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 筆記プリントの記述 実習作品 レポート、発表 積極的発言・発表 筆記試験の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 筆記プリントの記述 筆記試験の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報と表現の基礎	○メディアの種類と特性 ・文書 ・図解 ・音 ・画像 ・動画像　など ○コミュニケーションの基礎	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a メディアの種類と特性に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている b: メディアの特性やコミュニケーションの目的や活用について考え、より効果的な表現を考え工夫することができる c:アプリケーションソフトウェアを活用して様々な情報を分かりやすく表現するための技法を習得している d: 効果的なコミュニケーションを行う際の情報の役割、情報を表現するために用いるメディアの特性や役割について理解している	授業観察 出席状況 実技プリント レポート 発表 実技作品 筆記試験
	情報の表現技法・発信	○さまざまなメディアによる表現の基礎や編集 ○情報通信ネットワークの役割や活用方法 ○情報機器を利用した発表技法 ・レイアウトや配色	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 情報通信ネットワークや発信に関心をもち、発表に活かそうとしている b: レイアウトや配色など視覚表現に関するデザインについて考え、目的に応じて組み合わせた分かりやすい文書を作成することができる c: 情報通信ネットワークの利点を活用して情報を発信するための基礎的な知識と技術を習得している d: 情報通信ネットワークの特性、役割や活用方法について理解している	授業観察 出席状況 実技プリント レポート 発表 実技作品 筆記試験

2学期	情報の管理	○ドキュメンテーション ○情報セキュリティ ○情報の管理に関する法規	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:情報セキュリティの仕組みに関心をもち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている b: 文書の構成、定型化、作成目的について考え、効果的に組み合わせて表現することができる c: 情報セキュリティや法規に配慮した情報や文書などの管理手法を習得している d: 情報セキュリティや法規を理解し、適正に活用することができる	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品 筆記試験
3学期	コンピュータによる情報の管理と活用	○ファイルと階層構造 ○表計算ソフトウェアによる管理と活用 ○これからの情報社会	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、適切に行動しようとしている b:ファイル管理などの情報扱い方について考え、活用することができる 情報社会における情報の必要性や重要性について考え、正しく取り扱うことができる c:表計算ソフトウェアなどを利用して情報を蓄積、整理することができる d:目的に応じて適切に情報を整理し、抽出し、管理するための基礎的な知識と手法を理解している	授業観察 出席状況 実技プリント 実技作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。